

地元業者の育成・工事受注に向け



「地元業者の育成・工事受注に向けた体制整備」で、統一した考えのもとで、県建築協会（上山一吉会長）、県建築士事務所協会（大原達也会長）、県建設協会（山ノ内文治会長）、県空調衛生工事業協会（稲留澄男会長）は22日、鹿児島市の県建築会館で「第1回・建築4団体

会貢献に向け事業を展開していくため、新年度から新たに合同委員会（仮称）を設置し、各種事業をスタートすることを決定した。

県建築4団体が合同委設置へ 事務局は新年度から事業開始

事務局は、4団体協同で会員・県内企業の受注確保に向け積極的な活動を推進していききたいなどと挨拶。引き続き、県建築協

は県建築協会に設置②各団体から団体長、事務局長のほか2～3人の委員を選出して委員会を構成しなどを承認。また、新たに4団体

が出され、19年1月に開かれる第2回会合までに方向性を決定することと合意した。

このほか、PFI方式による県内の大型建

築工事が広がっており、合同の名簿作成や、合長が「合同委員会設置」については、早急に活動内容等を決定し、方向性を示さなければならぬとの提案

建築工事が広がっており、合同の名簿作成や、合長が「合同委員会設置」については、早急に活動内容等を決定し、方向性を示さなければならぬとの提案

建築工事が広がっており、合同の名簿作成や、合長が「合同委員会設置」については、早急に活動内容等を決定し、方向性を示さなければならぬとの提案

建築工事が広がっており、合同の名簿作成や、合長が「合同委員会設置」については、早急に活動内容等を決定し、方向性を示さなければならぬとの提案

建築工事が広がっており、合同の名簿作成や、合長が「合同委員会設置」については、早急に活動内容等を決定し、方向性を示さなければならぬとの提案

建築工事が広がっており、合同の名簿作成や、合長が「合同委員会設置」については、早急に活動内容等を決定し、方向性を示さなければならぬとの提案

建築工事が広がっており、合同の名簿作成や、合長が「合同委員会設置」については、早急に活動内容等を決定し、方向性を示さなければならぬとの提案

切通幸生工事検査監は「平成20年度から電子入札導入を予定している。19年1月から実施する郵便入札による条件付き一般競争入札は、電子入札へ移行するためのいわば準備である。現在、市格付け業者は203社、7工種で631社あるが、すべての建設工事に対して導入する」と説明した。

指名競争入札を原則廃止

理由について「受注能力および意欲がある建設業者に十分な受注機会を与えることにより、公平性・競争性・透明性の確保が図られる」と説明した。

導入時期は19年1月1日以降告示分から3000万円以上を対象に実施。2月1日以降は2000万円以上、3月1日以降は60万円以上と段階的に導入する。

対象工事は、災害復旧工事等の緊急的に対応する工事や鉄道近接工事等を除く、従来の指名競争入札を行っていた60万円以上のすべての工事が対象になる。

運用については「通常工事」と特殊な技術を必要とする「特殊工事」に区分。通常工事は現行の市内業者による「指名競争入札の格付け」を適用する。特殊工事については「市内見なし業者」の参加を含め、技能士等の

有無や過去の施工実績のほか、指名実績等も考慮し参加資格の条件とする。現在、格付けはA、B、C、D、Eの8段階に細分されている。土木一式工事の運用で、複数の工事に参加を希望し、同一現場代理人を重複で申請し落札した場合、他の参加申請は無効となる。従って複数の受注を希望する場合は、工事ごとに個別に現場代理人を配置しなければならぬ。

開札（郵便入札）は入札参加者のうちから立会人2人を選任する。開札場への参加者の立ち入りは事前申込で傍聴は可。同額の落札の場合、再入札はなく、くじ引きで決める。その際、くじを引く者は立会人が該当者である場合はその本人が引き、いなければ入札（工事）に無関係な部署からの職員（立会人）がくじを引くことになる。

実施要綱等の告示は市ホームページ（HP）や鹿児島建設新聞等で周知を図り、また開札後、入札参加者名や参加者個々の応札額を含め入札結果等はHP等を通して公表する。同入札方式について理解を深めてもらうため「出前講座」等を活用するとともに、個々に質疑も受け付け説明にあたる。HPにも説明資料等を公開する。

また「入札情報公表の変更」も示され、指名競争入札では現在、3000万円以上の工事について入札参加業者は事後公表だが、段階的に対象額を下げ、18年度中にはすべて事後公表とする。条件付き一般競争はすべて事後公表。

予定価格については、指名競争入札では一般競争入札導入に合わせて段階的に事後公表に。条件付き一般競争は郵便入札を考慮して事前公表とする。

薩摩川内市は21日、国際交流センターで19年1月から導入する郵便による一般競争入札について説明会を開いた。写真。今後の導入計画や対象工事の運用条件、郵便入札等で説明した。一部を

建設工事で県内初の導入

郵便による条件付一般競争本格運用

—薩摩川内市—

除き指名競争入札を原則廃止、建設工事では県内自治体で初めて条件付き一般競争入札を本格運用することになった。説明会午前部には123社、155人が参加。25日、鹿児島地区でも開催する。

有無や過去の施工実績のほか、指名実績等も考慮し参加資格の条件とする。現在、格付けはA、B、C、D、Eの8段階に細分されている。土木一式工事の運用で、複数の工事に参加を希望し、同一現場代理人を重複で申請し落札した場合、他の参加申請は無効となる。従って複数の受注を希望する場合は、工事ごとに個別に現場代理人を配置しなければならぬ。

開札（郵便入札）は入札参加者のうちから立会人2人を選任する。開札場への参加者の立ち入りは事前申込で傍聴は可。同額の落札の場合、再入札はなく、くじ引きで決める。その際、くじを引く者は立会人が該当者である場合はその本人が引き、いなければ入札（工事）に無関係な部署からの職員（立会人）がくじを引くことになる。

実施要綱等の告示は市ホームページ（HP）や鹿児島建設新聞等で周知を図り、また開札後、入札参加者名や参加者個々の応札額を含め入札結果等はHP等を通して公表する。同入札方式について理解を深めてもらうため「出前講座」等を活用するとともに、個々に質疑も受け付け説明にあたる。HPにも説明資料等を公開する。

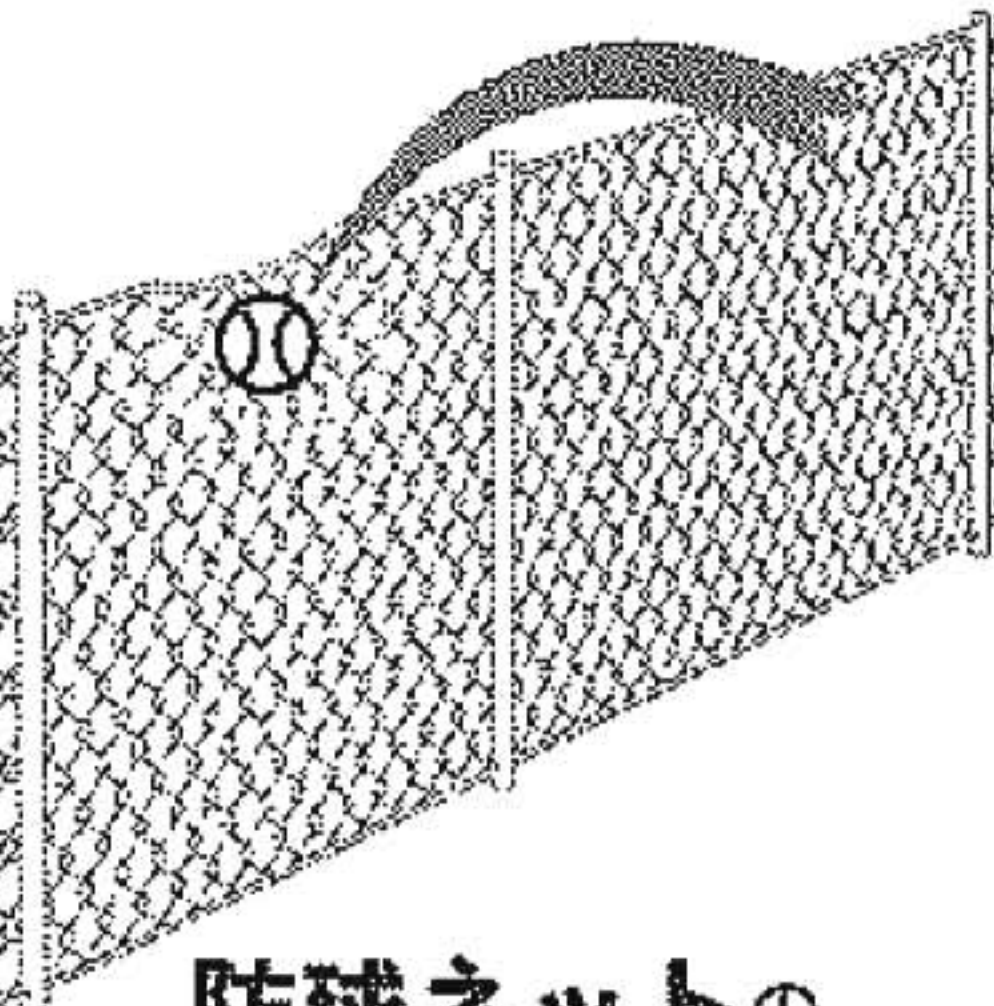
また「入札情報公表の変更」も示され、指名競争入札では現在、3000万円以上の工事について入札参加業者は事後公表だが、段階的に対象額を下げ、18年度中にはすべて事後公表とする。条件付き一般競争はすべて事後公表。

予定価格については、指名競争入札では一般競争入札導入に合わせて段階的に事後公表に。条件付き一般競争は郵便入札を考慮して事前公表とする。



株式会社 鹿児島建設新聞
発行人 大迫 純 隆
鹿児島市錦江町3番36号
電話 099-227-5100番
FAX 099-225-1919番
振替口座 02020-5-2558
http://www.kc-news.co.jp

どんな球も
逃さないぞ!!



防球ネットの
お問い合わせは
株式会社 朝日産業
鹿児島市東開町3-99 260-1711

DIAMOND DRILL
穿孔(径14.5mm~800mm)

ROAD CUTTER
舗装切断・目地切り(~800mm)

CHEMICAL ANCHOR
接着系樹脂アンカー

WIRE SAWING
橋梁・ビル・ダム・煙突切断

BURSTER
擁壁・建物基礎の破碎

DRY GROOVING
スリップ防止・牛倉すべり防止

最大破碎力1000 t

ピストン押入 加圧・割裂

静的油圧破碎機
※水中施工可能

WALL SAWING
壁切(開口・耐震スリット用)

SILENT・SPEEDY・SAFETY

日本コンクリート切断穿孔協会九州理事・日本乾式グレーピング協会
ダイヤモンドワイヤーソー工法研究会・鹿児島県ワイヤーソー協会理事

株式会社 西部システム

霧島市国分府中町26-33 TEL 0995-46-9015
E-mail: seibu-s1@po.mct.ne.jp FAX 0995-46-9016

交通安全施設工事
[区画線(ライン)・標識設置
防護柵フェンス・カーブミラー]

コンクリート維持補修工事
[CO目粗し(ショットブラスト)
鉄筋探査(RCレーダー)
落橋防止・変位制限
支保・ジョイント補修]

道路維持補修工事
[小型切削機(W=10・20・30・50)
円形カッター(マンホール周り)
側溝内水平切断(嵩上げ・嵩下げ)]